

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 7年 6月 18日

島根県知事 丸山 達也 様



提出者

住 所 島根県雲南市三刀屋町三刀屋122-1

氏 名 梅木建設株式会社

代表取締役 梅木聖司

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0854-45-3777

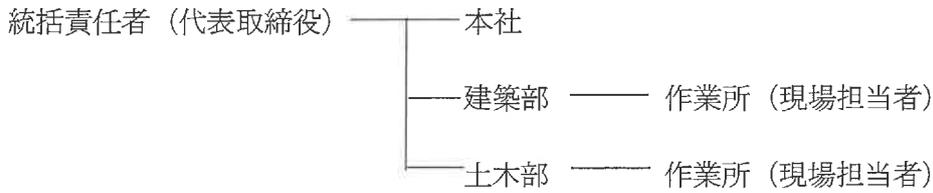
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	梅木建設株式会社
事業場の所在地	島根県雲南市三刀屋町三刀屋122-1
計画期間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業 総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高(令和6年度実績): 1, 294千円
③従業員数	22名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	①現場にて発生 ↓ ②収集・運搬(自社もしくは収集運搬委託) ↓ ③中間処理(処理委託) ↓ ④再生含む最終処分(処理委託)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (令和6年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排出量	1,410 t	
	(これまでに実施した取組) 排出の抑制については特に実施していない。 (※自社所有物件からの排出ではないため、排出の抑制は困難である。)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排出量	900 t	
	(今後実施する予定の取組) 自社で解体を伴う設計・施工を行う場合は排出量を抑える設計を考慮する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリートがら、アスがら、金属くず、木くず、紙くず、廃石膏ボード 他の廃棄物に混入しないように排出している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記取り組みを継続して実施する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	
(これまでに実施した取組) なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	
(今後実施する予定の取組) なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	なし
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t
	(これまでに実施した取組) なし	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	なし
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t
	(今後実施する予定の取組) なし	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙参照
	全処理委託量	1,410 t
	優良認定処理業者への処理委託量	81 t
	再生利用業者への処理委託量	1,322 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
	(これまでに実施した取組) コンクリートがら、アスがら、金属くず、木くず、紙くず、廃石膏ボードを分別集積し、他の廃棄物に混入しないように排出している。	

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙参照
	全処理委託量	900 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	100 t
	再生利用業者への 処理委託量	800 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t
	(今後実施する予定の取組)	
<p>コンクリートがら、アスがら、金属くず、木くず、紙くず、廃石膏ボードの分別を徹底し、混合廃棄物の量を減少させる。</p> <p>また再生利用できる産業廃棄物は100%再生利用業者へ処理委託をおこない、その他は優良認定処理業者へ処理委託するように努めることとする。</p>		
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

【 参考資料 】 産業廃棄物処理計画実施状況報告書の入力用シート

令和6年度 実績

産業廃棄物の種類 名称	計 画 状 況										送 料 先 に よ る 区 分			⑩優良認定処理業者 への処理委託量(t)	
	①排出量 (t)	②自ら直接 再生利用した量 (t)	③自己直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量 (t)	④自ら中間処理 した量 (t)	⑤④のうち 熱回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理 した後の残量 (t)	⑦自ら中間処理 により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理 した後再生利用 した量 (t)	⑨自ら中間処理 した後自ら埋立 処分又は海洋投 入処分した量 (t)	⑩直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量 (t)	⑪①-②-③-④+⑤-⑥-⑦+⑧-⑨	⑫①+⑩+⑪+⑫	⑬精回収型業者以外 の処理委託量 (t)	⑭他の処理業者 への処理委託量(t)	⑮優良認定処理業者 への処理委託量(t)
がれき類	1,033.790	0	0	0	0	0	0	0	0	1,033.790	0.000	0.000	0.000	19,040	19,040
ガラス・陶磁器くず	7.700	0	0	0	0	0	0	0	0	7.700	0.000	0.000	0.000	7.700	7.700
廃プラスチック類	28.790	0	0	0	0	0	0	0	0	28.790	0.000	0.000	0.000	28.790	23.240
金属くず	16.810	0	0	0	0	0	0	0	0	16.810	6.410	0.000	0.000	10,400	10,400
石綿含有産廃 (安定型)	0.000	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
建設汚泥	0.000	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
紙くず	3.830	0	0	0	0	0	0	0	0	3.830	0.000	0.000	0.000	3.830	3.830
木くず	307.560	0	0	0	0	0	0	0	0	307.560	300.780	0.000	0.000	6.780	6.780
廃石膏ボード	5.760	0	0	0	0	0	0	0	0	5.760	0.000	0.000	0.000	5.760	5.760
石綿含有産廃 (管理型)	5.580	0	0	0	0	0	0	0	0	5.580	0.000	0.000	0.000	5.580	4.100
水銀使用製品産廃	0.000	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
廃石棉等(特管)	0.000	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
合計	1,409.820	0	0	0	0	0	0	0	0	1,409.820	1,321.940	0.000	0.000	87,880	80,850

産業廃棄物処理計画数量(令和7年度 計画)

産業廃棄物の種類①	計 画 面 面 状 況										⑩ = ①-②-③-④+⑤-⑥-⑦ = ⑧+⑨+⑩+⑪			
	②自ら直接 再生利用した量 (t)	③自己最終処理 処分又は再生利用 した量 (t)	④自ら中間処理 した量 (t)	⑤④のうち 焼戻取を行った量 (t)	⑥自ら中間処理 した後の残存量 (t)	⑦自ら中間処理 により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理 した後の再生利用 した量 (t)	⑨自ら中間処理 した後の再生利用 処分した量 (t)	⑩直接及び自ら 中間処理した後の 処理量 (t)	⑪再生利用者への 処理量 (t)	⑫焼戻取戻業者 への処理量 (t)	⑬焼戻取戻業者 以外の 焼戻業者への 処理量 (t)	⑭他の処理業者 への処理量 (t)	⑮優良認定処理業者 への処理量 (t)
がれき類	645	0	0	0	0	0	0	0	645	0	0	0	0	100
ガラス・陶磁器くず	5	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	5	0
廃プラスチック類	20	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0	20	0
金属くず	15	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0
石綿含有産廃 (安定期)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紙くず	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3	0
木くず	200	0	0	0	0	0	0	0	200	0	0	0	0	0
廃石膏ボード	10	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	10	0
石綿含有産廃 (管理型)	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0
水銀使用製品産廃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃石綿等(特管)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	900	0	0	0	0	0	0	0	900	860	0	0	40	133